

2006年

1月1日発行

第13号

れん・れん

わやがわ 連・連

〔市民活動センターニュース〕

(連係・連携・連結・連衡・連鎖・連作・連接・連帯・連盟・連綿)

発行：寝屋川市立市民活動センター

〒572-0848 寝屋川市薬町4-1-1

TEL 072-812-1116

FAX 072-812-1118

3周年記念

ふれあいフェスタ開催

平成17年10月24日(月)、寝屋川市立市民活動センターふれあいフェスタが開催されました。51団体、358名の市民活動団体が集まり、情報発信や活動の機会を求めてパネル展示に、ひとことPRにと、自分達の思いを込めたアピールに大奮闘しました。毎年恒例の手づくりお弁当も楽しみのひとつ、200食が完売、大好評でした。



♪ふれあいフェスタの目的♪

でああう！つなぎさ！みつ叶よう！
出会うことによって自分たちの活動を知ってもらい、他の団体の活動も知り、お互いを理解しあい、協力することによって新たな活動場所や機会が増えることにつなげたい。

お陰さまで参加団体が年々増え、今年は障害児者施設協議会も参加され、新たな出会いができました。みなさまの寄付によるバザー売上げ17,160円は全額障害児者施設協議会へ寄贈しました。



翌25日(火)は「知って得する環境シンポ」を寝屋川環境ネットワークが開催しました。市環境政策課出前講座、環境家計簿発表、参加グループ活動発表、手づくりせっけん実演など幅広い環境問題に取り組み、工夫次第でできる節約の話や地味で根気のいる活動ほど人の心にひびくことも学びました。要約筆記「バンビ」の協力は難聴者の人たちへの理解にもつながったようです。



オープンから3周年がたちました。

ご利用ありがとうございます。

	H14年/10~H15/9	H15年/10~H16/9	H16年/10~H17年/9
利用者数	5,477名	8,236名	13,590名
利用団体数(登録数)	101団体	120団体	161団体
NPO法人	19団体(申請中含)	23団体(申請中含)	40団体(申請中含)
相談件数	199件(217名)	97件(110名)	86件(90名)
交流会	延べ137団体 (221名)	延べ190団体 (329名)	延べ88団体 (369名)
周年事業参加	26団体	40団体	51団体

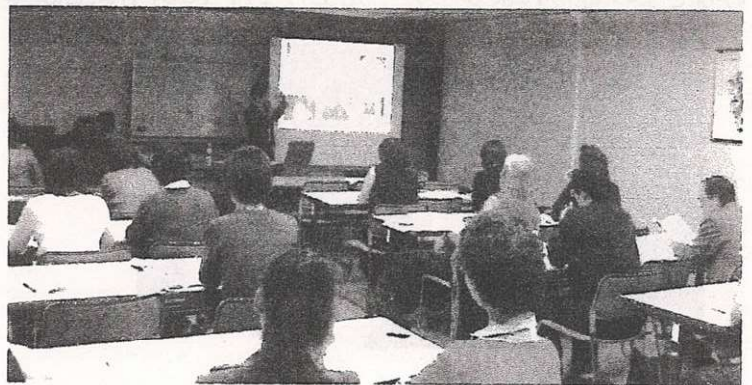
交流会報告



10月13日(木)福祉交流会

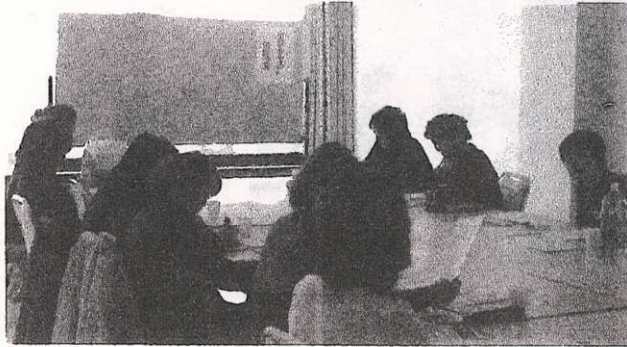
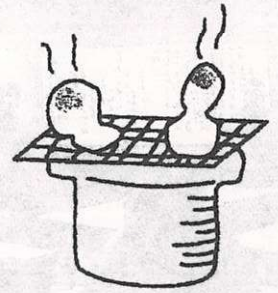
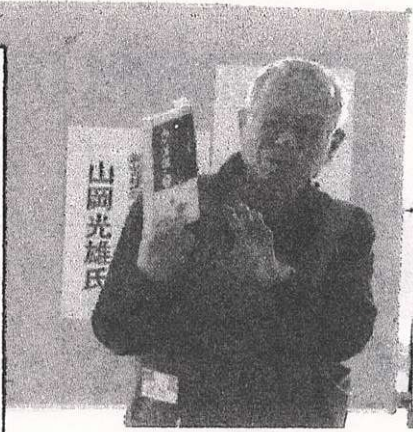
社協の能仁さんに「寝屋川地域福祉活動計画・寝屋川福祉発見プラン」の説明をしていただきました。クイズ形式のわかりやすく面白い進行で1時間近くのおーバーも苦になりませんでした。何事にも問題解決には「コミュニケーション」が大事と力説されました。次回の予定は未定

10月29日(土)NPO法人大阪元気ネットワーク主催「市民が変える、暮らしと地域」CBって?が開かれ、宝塚NPOセンター森綾子氏がコミュニティビジネスについて解説、ワーク21代表高見一夫氏は具体例を、参加団体同志の交流会では、熱心な情報交換がおこなわれました。



11月7日(月)、公益活動補助金説明会が開かれました。来年度より公益活動に対して本格的な補助金制度が導入されます。企画政策課が説明、市民活動団体は熱心に聞き入り、どんな事業が対象か、人件費は、何故半額補助なのかなど、具体的な質問が飛び交い、補助金への関心の高さを示していました。制度の詳細は市のホームページか企画政策課・ふれあい課・活動センターまでお問合せください。

11月15日(火)市民活動講座「生活に役立てる図書館の利用方法」 お話:山岡光雄氏(NPO法人図書館活用をすすめる会副理事長・経営史学会員) 東図書館をNPO法人図書館活用をすすめる会に民間委託された経緯、市民会館前のポスト設置、読書で脳の活性化、図書館のサービス、生活を創る図書館の工夫等、今後の図書館のあり方を市民ニーズの立場で熱っぽく語られました。



11月22日(火)子育て交流会

勉強会というタイトルはやめ、「課題を考える仲間づくり」という気さくなスタイルで続けましょうということになりました。次回は1月30日(月)14:30~16:00市民会館4階14会議室 新年会も兼ねてお茶とお菓子でお話合いをします。



社協と市民活動センターが手をつなぎました！

11月29日(火)午後、市立保健福祉センター5階で、寝屋川市では初めてとなる社会福祉協議会と市民活動センター合同で「ボランティアのつどい」を開催しました。当日は双方の登録団体を初め120名ものボランティア関係者が参加しました。会場は熱い



想いで熱気ムンムン、「交流のきっかけを見つけにきた」「他のグループの話が聞けてとても参考になった」「ありがとう、その一言で報われ続けてこられた」など現場のなまの声が飛び交いました。各々が活動の協力者を求めて・・・、機会を見つけに・・・、活動場所を捜しに・・・、理由は様々ですが寝屋川のボランティアの原点がここにあると多数の方が確信したので

はないでしょうか。市民活動センターにとっても大きな情報収穫ができた意義深い一日となりました。

市民活動講座 12月3日(土)「渇くアジアと世界に水を」 お話:アジア協会アジア友の会理事 吉田暢子氏 これまで1000基の井戸をアジア各地に贈り続けてきた。水汲みから解放された子どもたちのために学校と医療施設が必要となり、理解と支援協力を奔走されている。日本は四季があること自体豊かで恵まれていることを感謝してくださいとの言葉が印象的でした。そして海外は遠いと思わず、身近でできる支援活動を見つけてほしいとも・・・。





12月10日(土)「市民が変える暮らしと地域」のタイトルで市民活動見本市in寝屋川が大阪元気ネットワークの主催でおこなわれました。活動団体がプレゼンでアピール、参加者は応援したい団体に投票し、ヒト、モノ、カネ、情報を支援をするという仕組み。また、地域通貨で購入できる障害者施設と活動団体の即売会も人気がありました。

12月15日(木)分野を問わない交流会をもちました。初参加の団体もあり、お互い初めての顔がほとんどでしたが、お互いを理解しあい、協力できることをみつけあう姿勢はさすがだと感心させられました。市には実際の活動の中味に沿った物品支給の支援がほしいとの声が聞かれました。



登録団体紹介

悠々弦楽四重奏団

チェロ 鈴木孝道



学生時代から楽器に親しみ、オーケストラや室内楽を楽しんできた仲間たちが定年退職を機に、声をかければすぐに集まれる近在のメンバー四人で弦楽四重奏(バイオリン2、ビオラ1、チェロ1、の弦楽器による本格的な四重奏団)を結成しています。その名も残りの人生を音楽で楽しく豊かに生きようと「悠々弦楽四重奏団」と名付けました。自分達が音楽遊びで楽しむだけでなく、多くの方々にも生の演奏を聴いてもらえるように24時間悠々スタンバイしています。

演奏のレパートリーはクラシックの名曲はもとより、ポピュラー音楽、童謡唱歌、アニメソングから懐かしのメロディーや流行歌・演歌など、どの年代にも楽しんで頂けるように準備しています。

すでに保育園、幼稚園のよい子たちとも遊び、小学校の音楽鑑賞教室、PTA研修会での懇談コンサート、自治会やコミュニティーのコンサート、絵画展会場でのアートギャラリーコンサート、講演つきのコンサートその他、数名でも愛好される市民の招きに気軽に応じて出かけています。クリスマスの時期になると、サンタクロースに変身して赤い衣装で演奏プレゼント。「聴いてよかった」「また来てね」と温かな見送りが明日への生きがいにもなっています。

寝屋川市・を中心に枚方市・高槻市の音楽ボランティアとしても多方面に意欲的な活動を続けています。

橋本 猛(バイオリン)、三輪誠三(バイオリン)、鈴木照道(ビオラ)、鈴木孝道(チェロ)



ボランティア・明日葉

佐部田 繁子

摘まれても摘まれても明日は緑の若葉が一枚出てくれるという薬

草、明日葉の様に、明日への希望に繋がればいいなと思って、ささやかなボランティアをしています。ほんのちょっとしたお手伝いで皆が元気に安心して暮らせる町であって欲しい。ちょっとしたゴミ出し(これも高齢者や体の不自由な方にはつらいのです)ちょっとしたお話し相手(伴侶を亡くされ一人ぼっちになった悲しさ、さみしさもお話で薄れれば)「こんにちはお変わりありませんか？」の一言が、どんなに嬉しいことでしょう。体が不自由になるとつい外出もおっくうになります。趣味を続けたい、文学講座に出たい、市民会館で新聞等を読みたい、ボランティアの集まりに出かけたいと思っても、悲しいかな介護保険ではアウト。趣味・楽しみ・自分を元気にする外出にも付き添います。冬に向かってストーブを出す、電池が切れて点火しなくても大丈夫、電池を買ってきて交歓します。カーテンを取り替えたり、住まいの冬支度もします。草が伸びて隣の板垣を越えても遠慮せず言ってください。少しなら抜きます。(ものすごい場合は業者へ)天井の高いところの電球がきれたら困りますね。高齢になって踏み台にのり、さらに背伸びして電球を取り替えるのはすごく危険です。入退院のお手伝い等もします。介護プロの私たちに一声かけて下さい。お手伝いして下さる方も募集中！

朗読ボランティアにじの会 松下 三津子



私たち、朗読ボランティアにじの会は、視覚障害者の方に様々な情報を声で伝える録音テープを製作しています。その主な内容は、寝屋川市の広報をはじめ、議会便りや社協だより、一般の図書を音声化した声の図書製作から、雑誌ダ・カーポや新聞の切抜きなど幅広く手がけています。現在、耳で聞いて分かる読みをめざし、会員みな真剣に勉強に取り組ん

でいます。常に利用者の立場になって考え、本当に喜んでいただけるものを提供したい。この思いから、私たちは録音テープの音質はもちろんの事、内容に関しては誤読などがないよう何回も校正を重ね、より明確に内容が伝わる表現を勉強するなどまじめに活動を続けてきました。近年、利用者の対象が拡がり、寝たきりの人や重度の肢体不自由者、高齢による視力の低下の方も利用できるようになってきました。それに加え中途失明者が増える中、情報の聞き方も多様化してきています。社会のデジタル化により、CDやパソコンによる提供が始まったからです。こういった問題を抱えながら、真摯な活動を続けるには色々な困難があり不安を隠せません。より多くの方々や行政のご理解とご協力が必要となっているのです。これからも私達は、利用者の皆様に愛され役に立つボランティアでありたいと願っています。



活動センターからのお知らせ

1月 24 日(火)市民活動講座

「パソコントラブル解決法」

講師:大岩義夫さん、(NPO法人楽習サークル)

寝屋川市立市民会館 4階 14 会議室

あれっおかしい、パソコンが動かない? どうして?? ちょっとした対処ができないために先に進めない? どうしよう? …… などなど、パソコンについてわかりやすく説明する解決法講座です。当日直接参加 参加無料



『会社人間から地域にんげんへ講座』

団塊の世代が定年を迎える2007年はもうすぐ！定年を迎えたら、これまでの知識や経験を生かして何かをやりとげたいと思っている人たちは多いことでしょう、先輩の具体例から学びませんか？

人生設計に市民活動や地域活動という選択肢を選んだ元気な先輩たちが体験談を語ります、ぜひご参加ください。

2月18日(土)市民会館 4階 研修室
午後1:30～4:00

料理教室の受付は4月利用日より、活動センターが窓口となります。
利用しやすい時間設定になりました。



料理教室のご利用について

利用料金	1時間あたり500円 1時間単位で利用可能
利用時間	9:00 ～ 21:00 まで
利用条件	<p>寝屋川市内で活動を行っている(市内に住所や事務所、勤務先、通学先があるか、活動範囲が寝屋川市内を含む) 団体及びグループ(サークルを含む)またはこれから行おうとするグループ。</p> <p>※ 政治 宗教を主たる目的としないものに限りです。</p> <p>※ 原則として5名以上の活動グループ</p>
申込み方法	<p>利用しようとする日の属する月の6ヶ月前の初日から可能</p> <p>所定の利用申込書に記入し、市民活動センター窓口へ直接申し込んでください。</p>

【編集後記】

「自分達の活動の場所がほしい」「もっと自分達の活動そのものを知ってほしい」これら活動団体の声をセンターとしてどう応援できるか、引き続いての課題です。(編集子)



交通機関
 ・京阪寝屋川市駅東口3番のりばから京阪バス
 太宰住宅行き市民会館前下車
 ・京阪寝屋川市駅から東へ徒歩約15分

☆寝屋川市立市民活動センターのご利用案内

開館時間 9:00～21:00

(日曜・祝日は9:00～17:30)

休館日 毎月第2月曜日及び12/29～1/3

TEL:072-812-1116 FAX:072-812-1118

E-mail smkd-center@orion.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~katudo/>

〒572-0848

寝屋川市秦町41-1 寝屋川市民会館4階